

4 器楽とともに

愛の挨拶(フルート)	E. Elgar	佐々木基之
サラバンド(クラリネット)	A. Corelli	ノ
トロイメライ(チェロ)	R. Schumann	ノ
G線上のアリア(チェロ)	J. S. Bach	ノ
ラシーヌ讃歌(ピアノ)	関 みゆき G. Faure	
愛のワルツ集より(ピアノ)	関 みゆき J. Brahms	
かわいい小鳥		
岸辺の一つ家		
いやな世の中		
きれいな夜		
森に想う		
ハallelヤ	G. Händel	
		賛助出演 チェロ 河村洋人

.....パート紹介.....

Soprano

明るくて素直——これがソプラノの良いところだと思います。パートの中にいると、一人一人の温かさが伝わってきます。練習にも熱心で歌うことが大好きな連中が集まっています。欲をいえば、もう少し強気なところがあつてもいいと思うのですが、これも素直さゆえの注文……なかなか難しいものです。

ソプラノはまだ今20名、みんな個性的で素敵な女性ばかりです。

指揮者の声——低いソプラノ（えーっ？）は高い声を出すなよ。

Alto

朗らかに響くソプラノ、気取ったテナー、いぶし銀のベース。
けれど、これだけでは何物足りないので。そう、隠し味のアルトがなくてはいけません。片や旋律を歌うのがソプラノですから、同じ女声でもアルトは目立たないと思われがちですが、あなたの耳に入る旋律に魔法をかけるのが私たちアルトの役目なのです。かわいい魔術師、アルトの女性の一年の成果をハーモニーの中から聴き合っていただけたら大変うれしく思います。

指揮者の声——アルトは何人だ？ もう少しあるといいね。

Tenor

梨大合唱のハーモニーになくてはならない存在、それが私たちテナーです。決してスターがいるわけではありません。どこにでも居る平凡な仲間です。しかし、ひとたび心をひらき、耳をひらいて聴き合えば、すばらしいハーモニーの仲間になるのです。梨大のハーモニーをお聴きになつた時、私たちテナーのことを少しでも思い浮べて下さい。

指揮者の声——あゝテナーがほしい…… 君たちはテナーだ。

Bass

“響くBass” “支えるBass” “雄々しきBass”

この3つのスローガンのもと、私たちは一年間練習してきました。これらの目標が完璧に達成できることに、Bass一同歓びと驚きを隠しきれません。ムフフ……

“母なるボルガを下りて” “ペイチカ” “ラシーヌ讃歌” 等々、プログラムにはBassの聴かせどころとする曲がたくさんあります。一年間のすべてを本日みなさんに送ります。私たちの歌を、そして心をうけとて下さい。

指揮者の声——バスどうした？？？ 風だけじゃコマル……